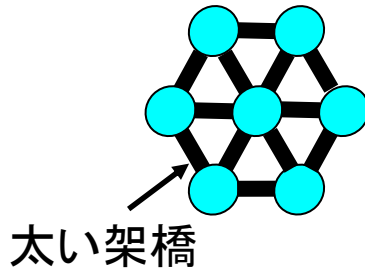


# 製品特徴詳細

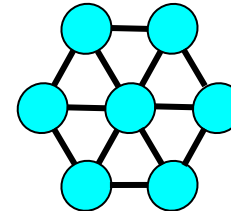
## 優れた耐アルコール性

アクリル系ハイクロスリンクポリマーのメカニズム

エクスプレスtypeA



一般的な樹脂ワックス



エクスプレスtypeAは、一般的な樹脂ワックスより架橋を太くし結合を強化することで、アルコールに対して影響を受けにくい。

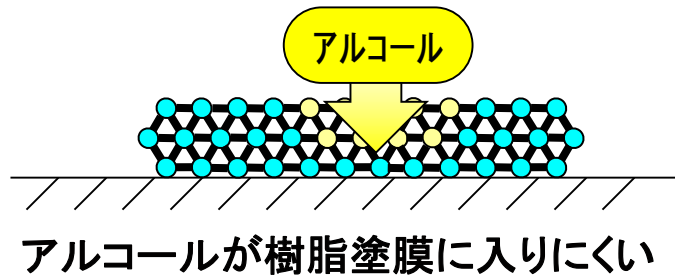
イメージ図

# 製品特徴詳細

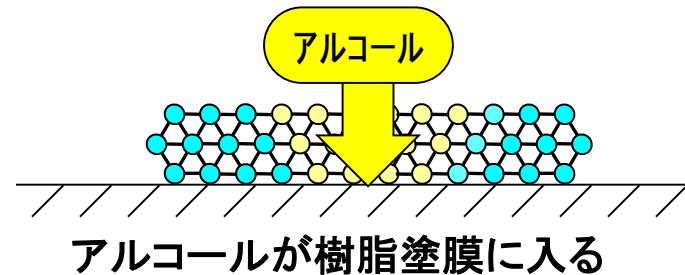
## 優れた耐アルコール性

アクリル系ハイクロスリンクポリマーのメカニズム

エクスプレスtypeA



一般的な樹脂ワックス



アルコール揮発

エクスプレスtypeAは、  
アルコールが樹脂塗膜に入りにくく  
揮発しやすいため、白化、溶解しにくい。

白化

または、

溶解

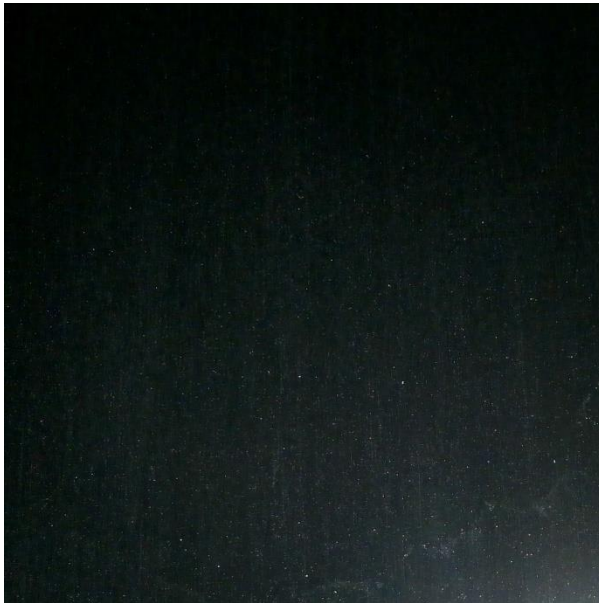
アルコールで白化、溶解しやすい

イメージ図

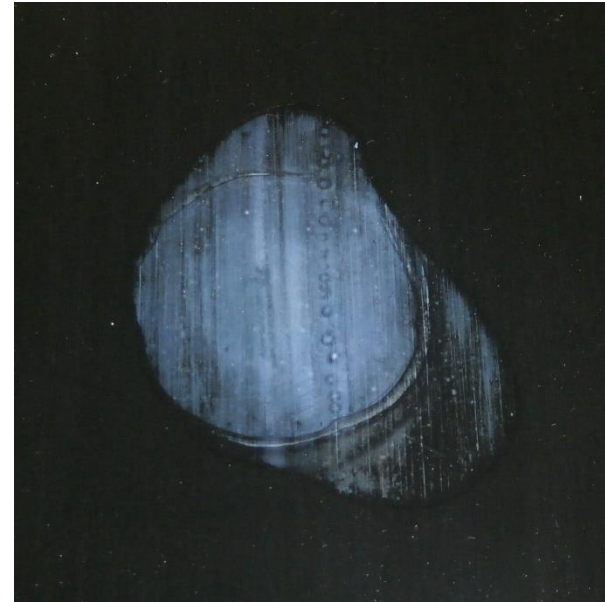
# 製品特徴詳細

## 優れた耐アルコール性

エクスプレスtypeA



一般的な樹脂ワックス



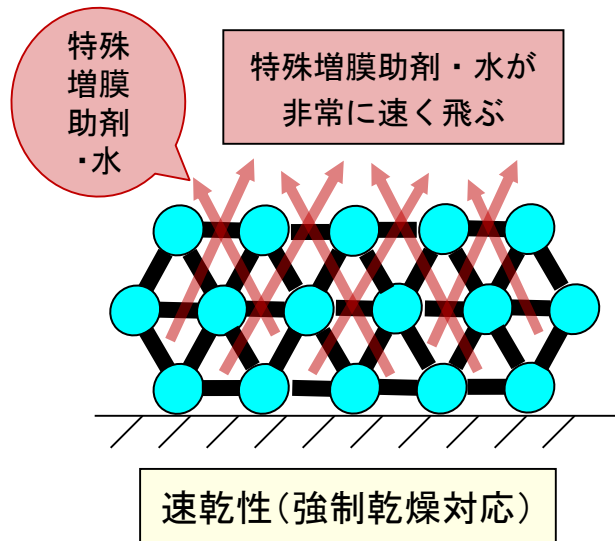
ワックスを3回塗布し、翌日に濾紙上に消毒用エタノールを滴下して30分間自然乾燥させた後、水拭きした塗膜の状態をみました。一般的な樹脂ワックスは白化しました。

※注意: 大量のアルコールが付着した場合、長時間アルコールが付着した場合、塗膜が痛んでいた場合などは、他の耐アルコール性樹脂ワックスと同様に白化、溶解する場合があります。

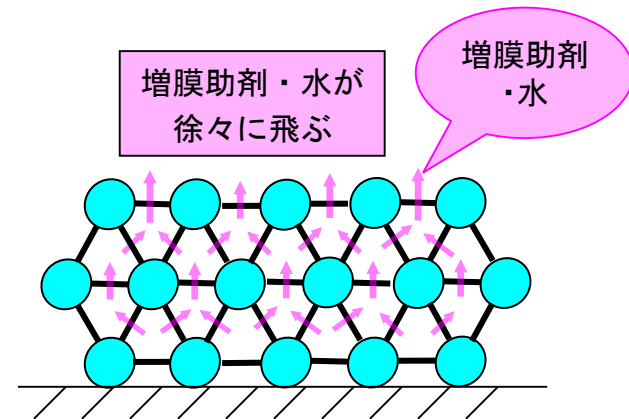
# 製品特徴詳細

## 速乾性(強制乾燥対応)

### エクスプレスtypeA



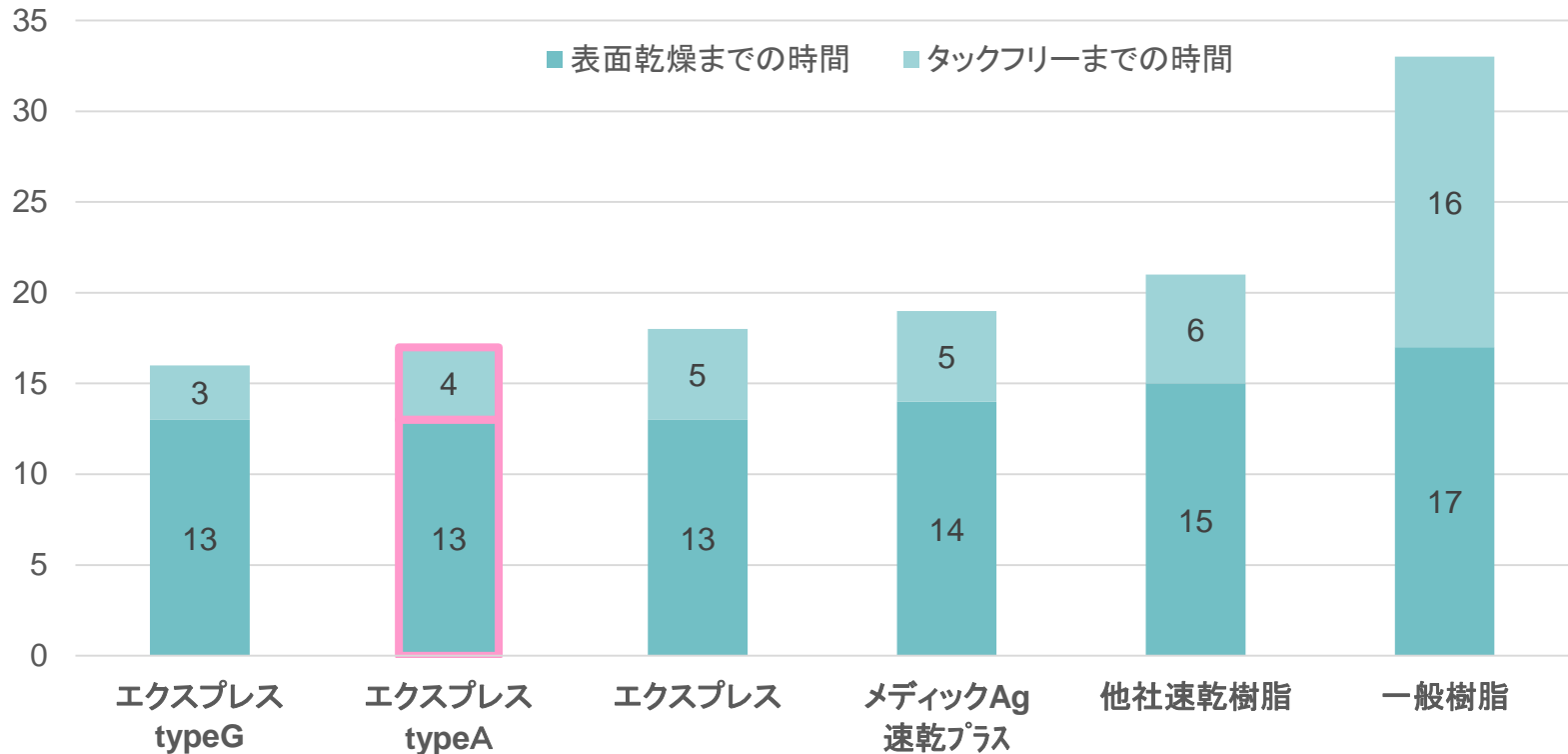
### 一般的な樹脂ワックス



エクスプレスtypeAは、特殊造膜助剤を配合し塗膜の乾燥性を速くしています。送風機による強制乾燥でもツヤぼけが起こりにくくなり、作業性に優れます。

# 製品特徴詳細

## 速乾性(強制乾燥対応)



気温25℃、湿度50%で複層ビニル床タイルに塗布量20g/m<sup>2</sup>で塗布し、自然乾燥させました。ワックスを塗布してから、目視でワックス表面が濡れていない状態(表面乾燥)になるまでの時間と、そこからさらにワックスの上を歩行してもベタつかずに歩行可能となる(タックフリー)までの時間を測定。

エクスプレスtypeAの乾燥時間は、一般樹脂ワックスに比べて約52%短縮されます。

※ 強制乾燥の場合は、自然乾燥に比べ、およそ半分の時間でワックスが乾燥します。

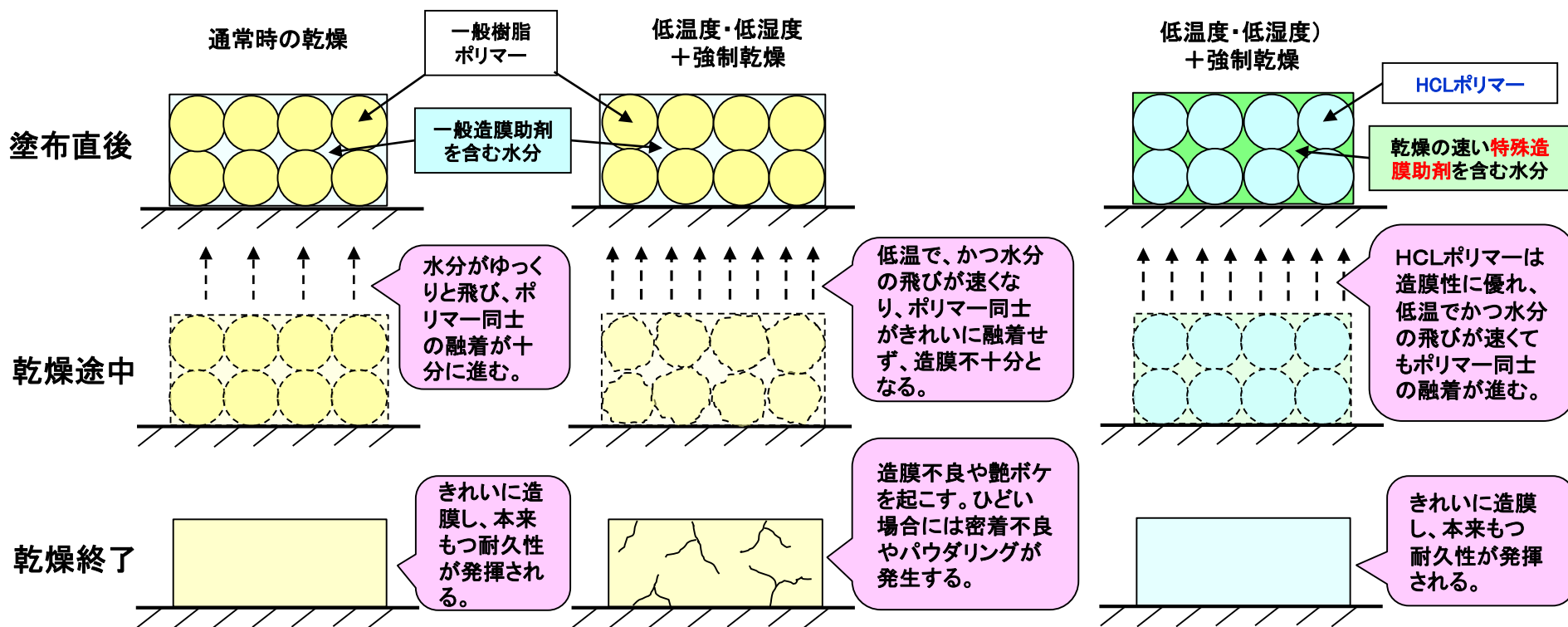
# 製品特徴詳細

## 優れた造膜性 ※低温度、低湿度環境下での塗布

アクリル系ハイクロスリンク(HCL)ポリマーは造膜性に優れ、低温・低湿の環境下に起きやすいパウダリングのリスクを低減します。

### 一般樹脂ワックスの造膜イメージ

### エクスプレスtypeAの造膜イメージ



# 製品特徴詳細

## 優れた造膜性 ※塗布後の強制乾燥

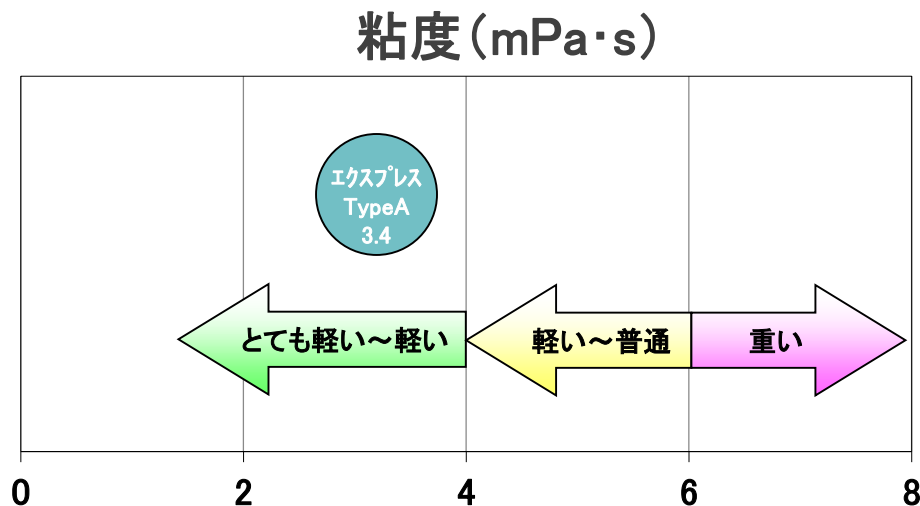
強制乾燥とは、ワックス表面がまだ濡れている状態のときに、送風機で直接ワックスに風を当てて乾燥させることで、エクスプレスType-Aは一般樹脂ワックスに比べて、強制乾燥時でも優れた造膜性を発揮しますが、如何なる場合でも、問題なく仕上がることを保障するわけではありません。作業時に下記の点を注意することが必要です。

### エクスプレスtypeAを強制乾燥させる場合の注意点

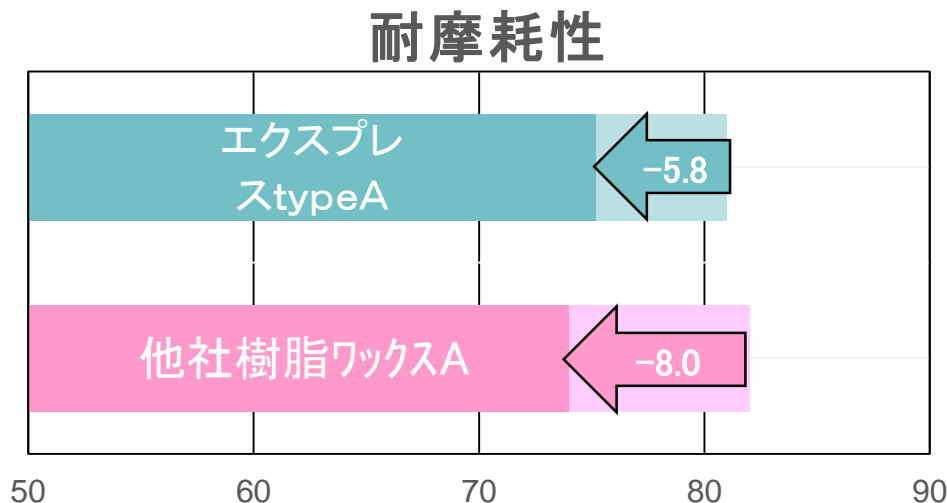
- ・塗布しながらの強制乾燥はワックスがレベリングする前に乾燥してしまい、レベリングが悪くなるおそれがあります。
- ・塗布量が多すぎると、送風機の風で波打って型が残る場合があります。
- ・塗布量が少なすぎると、モップさばきが重く感じたり、かすれた部分がすぐに乾いて均一に塗布できないことがあります。
- ・半乾きになっている箇所を再び擦ると、艶ボケするおそれがあります。

# 製品特徴詳細

## 塗り易くきれいな仕上がり



※エクスプレスtypeAは、製品粘度3.4mPa·sで、モップさばきが軽く、塗りやすい樹脂ワックスです。



※各樹脂ワックスを塗布したテストピースに砂を落下させた時の光沢落差を比較しました。耐摩耗性は光沢落差が小さいほど良好です。エクスプレスtypeAは他社商品に比べ耐摩耗性に優れています。